

ひとはくがある駅近広場

自然・環境マネジメント研究部

環境計画研究グループ

藤本 真里



2022年10月30日、エントランス周りの芝生広場で行われたのは「Ohanaフェス」、30周年を祝う「ひとはく30祭」の一環で、「プロジェクトOhana」が仕切りました。「育児世代の女性たちは、被災地等に駆けつけることはできないが、自分たちのできる支援をしたいと思っている、普段の活動の場もつくりたい」というのがOhanaの思いです。それを聞き、SNSで、ていねいな説明やチャリティイベントを継続する様子を見て、そのひたむきさに感動しました。数人の核になるメンバーがいて、イベント準備を切り盛りします。目標を共有した、ハートフルな面々です。そういう人たちと会って、安心して芝生広場を任せることができました。出展者は、Ohanaから三田市、神戸市北区で活動するグループや、さんだ住まいるチーム、SDGsを推進する企業等々にも広がりました。芝生広場の新しい景色が生まれました。出展者たちは、ひとはくを「毎日のように子供を連れてきた場所」「住まいを選んだ一つの理由」と言い、そんな場所でイベントがで

きることを嬉しいと言ってくれました。ひとはくの前の広場は、フラワータウンの中心地、「多くの人にアピールできる好立地」「安心して子供と過ごせる場所」です。みんなで育みたい場所です。10月30日ビジター数5,526人のうち、2,742人は、Ohanaフェスで動員してもらいました。また、今回の収益は、三田市社会福祉協議会に寄付されました。

